【目次】

- 1. 農林水産省 審議会 和食文化の更なる価値創造に向けて最終取りまとめ案
- 2. 農林水産省 認定事業 SAVOR JAPAN のバーチャルトリップを開催
- 3. 文化庁 令和3年度「食文化ストーリー」創出・発信モデル事業の公募開始
- 4. 文化庁 第18期文化政策部会 食文化ワーキンググループ (第5回)
- 5. 外務省 JAPAN HOUSE フォーラム 2021 開催のご案内

1. 農林水産省 審議会 和食文化の更なる価値創造に向けて最終取りまとめ案

農林水産省は、これまで「食文化振興小委員会」で議論された本件について、3月12日 (金)に開催されました「食料・農業・農村政策審議会企画部会」にて、最終とりまと め案をご審議いただきました。了承されましたので、「案」は取れています。

https://www.maff.go.jp/j/council/seisaku/kikaku/bukai/93shiryou.html

【資料4-2】和食文化の更なる価値創造に向けて最終取りまとめ案(概要)

【資料4-3】和食文化の更なる価値創造に向けて最終取りまとめ案(本文)

2. 農林水産省 認定事業 SAVOR JAPAN のバーチャルトリップを開催

これは、国内に滞在する外国人をターゲットに、コロナ終息後の現地への訪問や地域産品の購入につなげることを目的に実施しています。

このバーチャルトリップの対象地域は、農林水産省の認定事業である SAVOR JAPAN (セイバージャパン)です。

SAVOR JAPAN とは、日本食・食文化の「本場」である農山漁村、地域にインバウンドを呼び込み、訪日外国人の更なる増加、農林水産物・食品の輸出増大、地域活性化につなげることを目的としたものです。地域における情報発信の参考になればと考えます。

- ・第1弾 香川の動画「Let's Experience Udon Noodles of Kagawa」 https://www.youtube.com/watch?v=MxzIPSed5TU&feature=youtu.be
- 第2弾 にし阿波の動画「Tokushima's Hidden Treasures!」 https://www.youtube.com/watch?v=yE_YOQ_diww
- 第3弾 山形県鶴岡市 (配信動画は、現在、編集中)

山伏の方から出羽三山や国宝の五重塔の歴史、精進料理について伝える内容。

紹介 HP: https://en.japantravel.com/yamagata/the-spirit-of-yamagata-a-virtual-journey/66208

3. 文化庁 令和3年度「食文化ストーリー」創出・発信モデル事業の公募開始

文化庁は、特色ある食文化の継承・振興に取り組む地方公共団体、協議会等に対し、文化財指定等に向けた調査研究や、その文化的価値を伝える「食文化ストーリー」の構築・発信等を支援するための補助事業を実施いたします。

本事業は、文化財制度も活用しつつ、地方公共団体、協議会等の皆さまと連携しながら、 食文化の調査研究、継承・振興活動の推進と、それらを通じた地域活性化等を目指すも のです。

募集案内、補助要項等については、以下のアドレスをご覧ください。

公募期間は、3/10(水)~4/9(金)までとなっております。

https://www.bunka.go.jp/seisaku/bunkazai/joseishien/syokubunka_story/92857701.html

【本件問合せ先】

文化庁参事官(食文化担当) 柴﨑、栗田、三好 電話 03-5253-4111 (内線 5044)

4. 文化庁 第18期文化政策部会 食文化ワーキンググループ (第5回)

文化庁は、これまで、本WGを開催し、今回の第5回WG(3月8日)で、報告書及び 参考資料にて審議、座長一任で了となりました。

今後は、文化政策部会にて最終決定予定です。

なお、地方自治体向けの配布資料があります。

議題:今後の食文化振興の在り方について~日本の魅力ある食文化を未来につなげるために~

https://www.bunka.go.jp/seisaku/bunkashingikai/seisaku/18/wg05/index.html

5. 外務省 JAPAN HOUSE フォーラム 2021 開催のご案内

外務省戦略的対外発信拠点室では、世界への発信の「足がかり」として皆様にご活用頂けるよう、様々な機会をとらえてジャパン・ハウスの周知に努めているところです。 そのため 2018 年以降、国内の潜在的なコンテンツ・ホルダーを対象として、毎年「ジャパン・ハウスフォーラム」を実施してきております。

今年度は、3月18日(木)にオンラインにて以下のとおり開催予定です。茂木外務大臣の挨拶(ビデオメッセージ)に続き、原研哉氏や隈研吾氏など日本を代表するクリエーターを迎え、「日本の文化資産とその活用法」「テーマで切り取る地域の魅力」といった内容で、「地域」の海外発信を中心に据えて議論する予定です。

また、今回のフォーラムでは、出来るだけ多くの地域の中小企業等の方々(伝統工芸や

産品関係者等)の皆様にもご視聴いただければ、地域の(海外)発信の一助として貢献 させていただけるのではないかと考えております。

https://www.japanhouse.jp/news/20210318event.html

開催概要

日時:2021年3月18日(木)16:00~20:00(予定)

主催:外務省 参加費:無料

開催形態:オンライン形式

プログラム

16:00~16:05 茂木敏充外務大臣ビデオ・メッセージ(予定)

16:05~16:20 ジャパン・ハウス各拠点館長による挨拶

16:20~17:10 セッション1「日本の文化資産とその活用法」

日本の地域文化・伝統文化について、地方に結びつけた視点から読み解きます。そして何を文化遺産というのか、どういった方法でその文化遺産を活用できるのかを読み解きます。

パネリスト : 原 研哉氏 (ジャパン・ハウス東京事務局クリエイティブ・アドバイザー)

: 隈 研吾氏(建築家·東京大学特別教授 名誉教授)

: 青木 優氏 (株式会社 MATCHA 代表取締役社長)

17:10~17:20 ジャパン・ハウス サンパウロ、ジャパン・ハウス ロサンゼルスの活動 紹介ビデオ

17:20~19:55 セッション2「テーマで切り取る地域の魅力」

ジャパン・ハウスを活用した地域の魅力の発信について、どのようにコンテンツを開拓し現地のニーズに合わせていくのか。実際にジャパン・ハウス ロンドンで企画展を行った事業者の声と、これからジャパン・ハウスを活用したいと考えている自治体や事業者及びジャパン・ハウス ロンドン企画チームのやりとりを通じて考えます。

パネリスト :藤吉 雅春氏 (Forbes JAPAN 編集長)

:山田 遊氏 (株式会社メソッド代表取締役)

:加藤 さえ子氏(株式会社ウエルカム 事業開発部 海外事業マネージャー)

ビデオ出演 : 宮崎県 観光経済交流局

: 山出淳也氏 NPO 法人 BEPPU PROJECT 代表理事

: サイモン・ライト ジャパン・ハウス ロンドン企画局長

参加申し込みは、Web サイトのフォームから必要事項をご入力ください。

(3月16日17:30締め切り)

窓 口:北海道農政事務所 生産経営産業部 事業支援課

住 所: 札幌市中央区南 22 条西 6 丁目 2-22 エムズ南 22 条第 2 ビル

電 話:011-330-8810 FAX:011-520-3063

<本省の Web サイト(和食文化ネットワーク)>

https://www.maff.go.jp/j/keikaku/syokubunka/network/main.html

<北海道農政事務所の Web サイト>

https://www.maff.go.jp/hokkaido/

<その他>

北海道農政事務所や農林水産省では、このほかにもメールマガジンを発行しております。 配信をご希望される方は、ご登録をお願いします。

・北海道農政事務所メールマガジン

https://www.maff.go.jp/hokkaido/merumaga/index.html

本省メールマガジン

http://www.maff.go.jp/j/pr/e-mag/index.html